

3類型	農林水産品	通巻番号	4-27-005
地域資源名	能登のぶどう	認定日	平成27年7月6日
地域	七尾市、輪島市、志賀町、穴水町、能登町	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名：能登のぶどうを活用したフィグログ等ワインにマッチする加工食品の製造・販売事業

会社名：株式会社OkuruSky

所在地：石川県鳳珠郡穴水町字鹿波ハ
1-1

連絡先：TEL：0768-58-1522

FAX：0768-58-1523

H P：http://okurusky.jp/

事業概要(新たな活用の視点)

・自社農園で栽培した能登のぶどう(ワイン醸造用ぶどう)は、これまで地域のワイン製造会社へワイン醸造用のぶどうとして供給してきたが、このぶどうの新たな活用として、ワインの飲酒時にマッチするおつまみ食品を提供するという新発想のもと、フィグログを中心としたぶどう加工食品を製造・販売する。

・能登のぶどうは、水分含有量が少なく、高糖度、高酸度という特徴を有する。酸味が高いため、生食には適さないが、これをローストすることにより、酸味を抑え、甘みを引き出すことに成功。これにより、これまで醸造用のみに使用していたぶどうをフィグログ等加工食品として提供するという新たな活用の視点を見いだした。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

・使用するぶどうは、自社農場で栽培されたものであり、その栽培には除草剤を用いない等の安全安心の配慮を施している。他の原材料も全て能登地区または石川県産のものを使用するなど、地産にこだわり、競合品との差別化を図っている。

◆市場性

・本商品は「ワインの最高の伴侶」というコンセプトで開発を進めているが、ワイン市場は近年ワインブーム等の影響で拡大傾向にあり、それに伴い、本商品の市場性も拡大していくと見込める。

◆販路

・能登や金沢を訪れる観光客へのお土産品として、駅・空港の売店、観光地周辺のお土産品店を中心に販路を開拓していく。さらに、首都圏や関西圏の百貨店のほか、ネット販売等により全国への販路拡大を目指す。



【フィグログ(プレーン味)】



【自熟能登のぶどう農園】

地域資源における関係事業者等との連携

・地域内のワイン製造会社やぶどう生産組合とは、新品種の栽培の指導・評価で連携。穴水町商工会とは商品の域外へのPRで連携。穴水町とはぶどう園を活用した農業体験型のワインツーリズムにおいて連携し、地域の活性化を図る。